

Project

地域プロジェクト (2020 前期～2020 後期)

C-06

地域協働専攻
地域環境科学グループ

地域における音環境の調査と提案

【メンバー】 [学 生] 後藤 航大/船場 幸大/篠塚 響/川村 純平/初田 紘基/村山 歩夢/北村 瞭
[担当教員] 今野 英明

【背景】

函館は現在、新型コロナウイルスの打撃により観光客が大きく減少しているという問題がある。そこで、前年度に行ったことを引き継ぎつつ、音という観点から少しでも函館に魅力を感じてもらおうような活動をしようと考えた。

【目的】

様々な函館特有の音を通して、耳で函館の町を体感してもらい、将来的に函館に行ってみたいと感じてもらうことを目的とした。

【概要】

函館のいろいろな音を集めた「Hakodate Sound Map」を作成し、Web サイトで公開する。今回の新たな取り組みとしては3次元的な音の広がりを感じられる立体音響を導入した。また、パンフレットとポスターを作成し、函館市内の各施設に設置し、広報活動をする。

【プロセスと成果】

前期は過年度プロジェクトを把握し、電子メールによってメンバー間のやり取りを行った。函館では、新型コロナウイルスの打撃により観光客が大きく減少しているという現状から、函館特有の音を資源としたプロジェクトの背景、目的を決定した。また本プロジェクトでは函館各地の音を集めた「Hakodate Sound Map」を作成し、Web サイトで公開することや、閲覧者の行きたい場所に応じた音を提示する機能、広報のためのパンフレットとポスターの作製、Web サイトとパンフレット、ポスターの英語版の作成、パンフレットとポスターのデジタル化、SNS での広報活動などの案を検討した。

後期は音響班と Web 班に分かれて活動を行った。音響班では「Hakodate Sound Map」に載せる音を函館市内各地にて ZOOM H3-VR という立体音響での録音が可能な機材を導入し収録した。また、収録した音源の編集や、広報用のパンフレットとポスターの作製を行った。Web 班では収録・編集した音源を用いた動画編集、イラストの作成、「Hakodate Sound Map」の作成と、WiX を用いた Web サイトの作成を行った。その後、函館市内各所の施設、計 10 か所に協力をお願いし、パンフレットとポスターの配置を行った。

成果として本プロジェクトでは函館の音の魅力を伝える「Hakodate Sound Map」を作成し、パンフレットとポスターという形で広報した。パンフレット、ポスターは 2 月中旬に回収を行い、配布部数 155 部のうち、持ち帰り部数は 66 部、また、Web サイトのアクセス数は 152(2 月 23 日時点)であった。



市電の音を収録している様子



作成した「Hakodate Sound Map」

【総括と反省・今後の課題】

私たちは、現在の函館市において新型コロナウイルスの影響により観光客が減っているという現状に対して、函館の音に魅力を感じてもらい、観光客を増やすことを目的として活動した。

前期は、どんな活動を行うかを話し合い、函館各地の音を集めて、その集めた音を載せる「Hakodate Sound Map」という Web サイトの作成、その Web サイトを宣伝するポスターとパンフレットの作成といった活動をすることを検討した。

後期では、音の録音・編集とパンフレット・ポスターの作成を行う音響班と、Web サイトの作成を行う Web 班に分かれて作業を行い、Web サイト・パンフレット・ポスターを作成した。Web サイトに載せる音は立体音響にしたため、臨場感のある音になった。また、去年よりも音の収録地を増やした他、立体音響の導入に伴い、去年に収録した音も一部撮りなおした。作成したパンフレットとポスターは、函館空港や函館駅など計 10 か所に設置させて頂いた。

反省点としては、前期に作業を始めるのが遅かったことが挙げられる。これにより、英語版の作成、SNS での宣伝、Web サイトへの機能の追加などができなくなってしまった他、パンフレットとポスターを設置する時期も遅くなってしまった。

今後の課題としては、Web サイトへの意見を貰うために、アンケート機能を Web サイトに追加することが考えられる。また上記の反省点の中でも、より多くの人に Web サイトを見て貰うために SNS での宣伝は行うべきということが考えられる。

【地域からの評価】

成果発表会において本プロジェクトに寄せられた意見に目を通すと、「斬新」や「ユニーク」といった言葉がよく用いられていた。函館市は観光都市として広く浸透しているため、単に観光 PR を行っても、その一つとして埋もれてしまっていたかもしれない。しかし、私たちの活動「Hakodate Sound Map」では、観光を「音」という独自の観点から捉え、市街や観光地で聞ける音を録音し Web サイトを通じてそれを提供した。

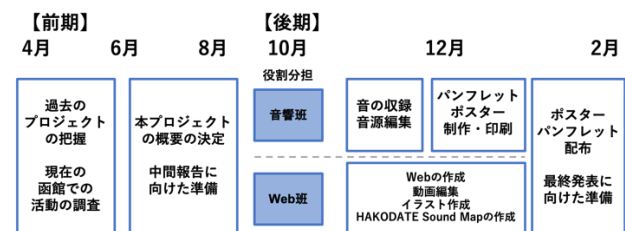
これが功を奏したのか、地域の方々から興味・関心を抱いてもらえるような独創的なアプローチをかけることができた。作成した Web サイトやパンフレット、ポスターの出来は意欲的な成果物として捉えて頂けたようで、これらを介して本プロジェクトへの関心につなげることができたように思えた。

発表内容に関しても、バイノーラル録音したものと、通常録音したものを聞き比べてもらうという取り組みに関して、「面白い」「違いが分かった」などの意見を頂くことができた。また、発表のテンポも良く、聞きやすかったなどの意見も見受けられた。

頂いた意見・感想は全体的にポジティブな内容だった。特に独創的だったという意見が多く、それだけ興味・関心を持ってもらえたのだと思えた。感染症の流行という時節柄、観光もままならないが、少なからずの人数の目を函館市に向けてもらうことはかなったように思える。直近での成果は少ないかもしれないが、長い目で見るときに私たちの活動「Hakodate Sound Map」が函館市を見つめ直す機会となり、函館市の既存の魅力だけでなく、新たな魅力の発見に少しでも助力できたのであれば幸いである。

【その他】

◆ 年間スケジュール



◆ 謝辞

本プロジェクトの活動にあたり、パンフレットやポスターの設置や広報活動を快く承諾して下さった函館市内各施設の皆様に心から感謝いたします。



作成した「Hakodate Sound Map」のポスター